

平成 28 年度第 1 回拡大理事会開催 ～各支部、各部門からの積極的な提案多数。理事役員との課題・目標を共有～

平成 28 年 9 月 10 日、平成 28 年度第 1 回福島県理学療法士会拡大理事会がユラックス熱海にて開催されました。拡大理事会は、各支部の代表者や各部門・委員会代表者らの参加によって構成される会議です。同会では理事会からの報告に加え、各支部・部門からの活動報告や提案・協議事項について活発な討議がなされます。今回の拡大理事会でも、県内各支部代表者を中心に 27 名の参加者によって活発な意見交換がなされました。

冒頭では、当県士会・山口和之会長が「団結力・行動力を持って頑張っていきましょう」と参加者に投げかけました。理事会からの報告では、「マイナンバー管理方法について」、「当県士会 50 周年記念事業準備室について」、「会員管理・福利厚生からの連絡事項」、「各部局・委員会における平成 28 年度目標について」、「当県士会管理者研修会について」などが報告されました。また、財務局、学術・研修局、公益事業局、MST 推進部など、各部局ならびに、政治参加検討委員会、倫理・安全委員会、広報・渉外委員会、職能委員会など各委員会からも報告が行われました。その中でも、本年度からスタートした企画・推進委員会からは、補助金事業について報告が行われた他、今後の人材発掘についても検討を進める旨が報告され、今後の当県士会における学術活動および公益事業等にも関連する新たな展開が期待されます。さらに、広報・渉外委員会が管理運営するホームページについては、スマートフォンなどでもアクセスできるよう改善中であることや、各支部の活動なども随時掲載していく予定もあるとのことで、今後の県士会員への発信拠点としての機能がさらに拡大している内容が紹介されました。各支部からも活発な活動の様子が報告され、各支部の地域特性や事業展開の特徴が明確に紹介されていました。そんな中でも、県北支部からは、新事業として「リハフェス」と称した、PT、OT、ST 合同の情報共有企画が紹介され、活発な活動を印象付けていました。

最後に当県士会・横島監事からは「支部が活性化されてきている。拡大理事会も良い会議になってきた」とコメント。次回、開催の拡大理事会へ大きな期待を寄せました。今後も拡大理事会という場が当県士会の活性化を後押しする場として機能していくと思われま。

会報誌編集委員長 折内英則

